

地域包括 支援センターを

ご存知ですか!?

どんな仕事を
しているところ?

平成18年4月に地域包括支援センターが設置され2年半になりました。

地域包括支援センター(サブセンター)では、地域で暮らす高齢者のみなさんを介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支えるため、次のような仕事をしています。

介護予防ケア マネジメント

特定高齢者や要支援1・2と認定された人の自立支援を目的に介護予防ケアプランを作成します。

Q. 介護予防ケアマネジメントとは?

A. 特定高齢者(虚弱高齢者)、要支援1および要支援2と認定された人に対して、要介護状態にならないよう生活機能向上の意欲を引き出し、利用者や家族とともに目標とする生活をイメージし、セルフケアや地域の公的サービス、介護予防教室、介護保険サービスなどを適切に利用する「介護予防ケアプラン」を個別に作成し、サービスを調整します。

Q. 特定高齢者って何?

A. 要支援・要介護状態になるおそれの高い、虚弱な状態にある65歳以上の高齢者です。

総合相談

介護保険に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど、どんな相談にも対応します。



Q. 総合相談は、どんな相談をしてもいいの?

A. 高齢者の健康のことや介護方法、サービスの使い方など高齢者やその家族、地域の人からの相談を受けます。例えば… 介護保険制度やサービスについて知りたい、認知症症状が出て困っているなど

Q. 相談の方法は?

A. 電話、来所、訪問、メールでご相談いただけます。

Q. 誰が相談に乗ってくれるの?

A. 保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが対応します。